

## 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

配置学科	担当教員名	科目名	履修学年	単位数	講義内容
児童福祉学科	太田修平	保育実習Ⅰ・施設	2	2	児童福祉施設で指導員および実習生指導の経験がある教員が現場経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら授業を通して学んだ知識等を用いて、利用児・者や施設に関する基本的な理解、利用児・者に対する基本的な支援、保育士の職業倫理、職員間の連携について体験を通して学んでいき、自己理解を深めていく。
児童福祉学科	室崎美佐子 小合明美 西原嘉子	保育実習Ⅰ・保育所	2	2	保育所での保育士および実習生指導の経験がある教員が現場経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、保育所における保育士の専門性、役割や機能を理解させると同時に子どもへの理解や職員間の協働性のあり方を模索させる。また、理論を実践の場で具体化することを目的に、保護者の良きパートナーとなり、生活習慣等の自立への支援や、乳幼児の関わり方など、体験を通して理解できるようにする。
児童福祉学科	室崎美佐子 小合明美 西原嘉子	保育実習Ⅱ ※ ※保育実習Ⅱ または保育実習Ⅲを選択	2	2	保育所やこども園での保育士および実習生指導の経験がある教員、児童福祉施設で指導員および実習生指導の経験がある教員が現場経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、実際の保育現場において保育実習Ⅰを基礎として、次のことを指導する。 ①保育の基本的な役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。 ②子どもにとっての環境に視点を持ち、観察や関わりを通して保育の理解を深める。 ③保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。 ④諸教科で学んだ理論との関連性を見出し、保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 ⑤保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益について学ぶ。 ⑥実習における自己課題を明確化する。
児童福祉学科	太田修平	保育実習Ⅲ ※ ※保育実習Ⅱ または保育実習Ⅲを選択	2	2	これまでの実習を踏まえた総仕上げの実習として位置づけられる。 児童福祉施設で指導員および実習生指導の経験がある教員が現場での経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、保育実習Ⅰで習得した知識や技術を踏まえて、利用児・者に対する個別的な支援の実践をしていく。 実践を通して、利用児・者と関わるために必要な態度と技術を習得することを目指していく。
児童福祉学科	太田修平	施設基礎実習	1	2	児童福祉施設で指導員および実習生指導の経験がある教員が現場での経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、利用児(者)との触れ合いを通して、施設での一日の様子を知る。 障害児(者)に対して保育士としてどのような関わりができるのかを学び、2年次の「保育実習Ⅰ・施設」に向け、福祉施設・利用児(者)・保育者について具体的なイメージを持つ。
児童福祉学科	室崎美佐子 小合明美 西原嘉子	保育所基礎実習	1	2	保育所での保育士および実習生指導の経験がある教員が現場での経験を生かして、現場指導者と連携しながら、保育所での参加型実習を通して、保育士の役割や子どもの一日の園生活の流れを知る。 また、子どもの発達やあそび等について保育園の環境構成について学び、2年次の「保育実習Ⅰ・保育所」に向け、保育所・子ども・保育士について具体的なイメージをもつ。
児童福祉学科	合計	10単位	(保育実習ⅡまたはⅢいずれかのため)		

配置学科	担当教員名	科目名	履修学年	単位数	講義内容
看護学科	看護学科教員	子ども看護実習Ⅱ（発達障がいがある子どもの支援）	3	1	障がいのある子どもとその家族を理解し、健やかな成長発達を促すために必要な支援について学ぶ。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	障がいがある人の理解と支援実習	3	2	障がいがある人を理解し、適切な支援を行うための看護の役割を理解する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	基礎看護学実習Ⅰ	1	1	看護の本質を知り、看護の概念、健康の概念、看護師の役割・責務を学ぶ。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	基礎看護学実習Ⅱ（治療過程を支える）	2	2	入院治療を必要とする対象者の治療過程を支える看護を理解する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	地域・在宅でくらす人を支える看護実習	3	1	地域・在宅でくらす対象者の健康および日常生活状況に応じたその人らしい生活をおくるための看護の役割を理解する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	地域・在宅で療養する人を支える看護実習Ⅰ（在宅復帰に向けた看護）	3	1	療養の場から日常生活の場に戻る対象者の生活機能維持・回復を目指す看護の役割を理解する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	地域・在宅で療養する人を支える看護実習Ⅱ（在宅での看護）	3	1	地域・在宅で療養しながらくらす対象者とその家族が、可能な限り住み慣れた居宅でその有する能力に応じて自立した生活をおくるための看護の役割を理解する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	子どもの看護実習Ⅰ（子どもの支援）	3	1	健康な乳幼児の成長発達や日常生活行動の特徴を理解し、健やかな成長発達への支援について学ぶ。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	クリティカルケア実習	3	2	あらゆる治療、あらゆる病期・病態にある人々に生じた、急激な生命の危機状態に対して心身の安定をはかり、順調な回復経過をたどって侵襲を受ける前の状態に戻ることを目指して行われる看護を理解する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	セルフマネジメント看護実習	3	3	継続治療および長期に症状コントロールを必要とする人が、自らの健康と生活をマネジメントしながらよりよく生きていくことを支える看護を理解する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	療養生活を支える看護実習	3	3	入院治療を必要とする高齢者の疾患や入院生活によって低下した機能を回復維持し、できるだけ入院前に近い生活へと戻れるよう支援する看護の役割を学ぶ。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。

看護学科	看護学科教員	命をはぐくむ人への看護実習	3	2	妊婦、産婦、褥婦、新生児、乳児の各期の生理的変化をふまえ、対象に応じた看護を学ぶ。また新しい生命を迎える家族も含めた必要な看護について学ぶ。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	精神看護学実習	3	2	精神に障がいがある対象者を理解し、対象の健康障害に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	看護のマネジメント実習	3	1	臨床の状況に即した看護実践に主体的に取り組み、保健医療福祉チームの一員として看護を実践する基礎的能力を育成する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	看護学科教員	看護の統合実習	3	1	臨床の状況に即した看護実践に主体的に取り組み、保健医療福祉チームの一員として看護を実践する基礎的能力を育成する。 この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員と看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
<b>看護学科 合計 24単位</b>					

配置学科	担当教員名	科目名	履修学年	単位数	講義内容
介護福祉学科	中西貴子 他	生活支援技術C（基本介護技術）	1	8	介護福祉士として実務経験を有する教員が、介護を必要とする人の状態に応じて適切な介護技術が提供できるよう実践的に指導する科目である。 介護の原則である「自立（自律）支援」「尊厳の保持」「安全・安心」を土台とし、対象者の能力を活用・発揮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識・技術を習得する。また、実践の根拠について、説明できる能力を身につける。 ICF の概念に基づくアセスメントを行い、さまざまな対象者に適切な生活支援が展開できることを目指す。
介護福祉学科	中西貴子 他	生活支援技術D（基本介護技術）	2	4	介護福祉士として実務経験を有する教員が、介護を必要とする人の状態に応じて適切な介護技術が提供できるよう実践的に指導する科目である。 生活の継続性を支援する観点から、生活支援技術C（基本介護技術）の知識・技術を土台に、対象者の個々の状況に応じた支援が実践できるための個別援助技術を習得する。 また、社会生活の維持拡大に向け、ご利用者の楽しみ、役割、生きがいにつながる視点を養い、状況に応じた生活支援技術が実践できることを目指す。
介護福祉学科	小淵順子 中西貴子	介護過程展開Ⅰ	1	2	介護福祉士として実務経験を有する教員が、介護を必要とする人の状態に応じて適切な介護技術が提供できるよう実践的に指導する科目である。 他の科目で学習した知識や技術を統合して、一連の介護過程の展開を学習し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。 介護過程におけるアセスメントの必要性を理解し、「必要な支援とその理由」を明確にする。
介護福祉学科	小淵順子 中西貴子	介護過程展開Ⅱ	2	1	介護福祉士として実務経験を有する教員が、介護を必要とする人の状態に応じて適切な介護技術が提供できるよう実践的に指導する科目である。 他の科目で学習した知識や技術を統合して、一連の介護過程の展開を学習し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。 事例学習を繰り返し行い、利用者のさまざまな状況に応じた介護過程の展開方法を身につける。

介護福祉学科	介護福祉学科 教員	介護過程展開Ⅲ (事例研究)	2	2	<p>介護福祉士として実務経験を有する教員が、介護を必要とする人の状態に応じて適切な介護技術が提供できるよう実践的に指導する科目である。</p> <p>他の科目で学習した知識や技術を統合して、一連の介護過程の展開を学習し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。</p> <p>介護実習Ⅱ -2 で担当した利用者を通して事例研究を行い、介護過程の展開を総合的に学ぶ。</p>
介護福祉学科	田中いづみ 他	医療的ケア	2	2	<p>看護師として実務経験を有する教員が資格をとり、医療的ケア及び救急蘇生法の理論と技術習得を実践的に指導する科目である。医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。</p>
介護福祉学科 合計 19単位					